

令和七年度 第四十一回 奥の細道象潟全国俳句大会開催要項

「象潟や雨に西施がねぶの花」「汐越や鶴はぎぬれて海涼し」の二句は、俳聖松尾芭蕉が訪れた最北の地「象潟」で詠んだ句です。この「象潟」に思いを巡らせてもらおうと昭和五十九年から全国俳句大会を開催しています。ご同好お誘い合わせの上、多数ご投句いただきますようご案内申し上げます。

開催日 令和七年八月二日（土） 会場 秋田県にかほ市 象潟公会堂（にかほ市象潟町字三丁目塩越一六三）

（JR羽越本線 象潟駅下車、大会当日は、JR象潟駅・会場間の送迎バスを運行します）

大会日程

1 大会受付 正午～午後一時十五分

※昼食を希望される方は、道の駅「象潟」ねむの丘にて準備します。ただし、事前申込制の定員三十名です。定員に達し次第締め切ります。詳しくは、申込者に連絡いたします。

2 記念講演・選評 午後一時三十分～午後三時

3 授賞式 午後三時～午後三時三十分終了予定



星野 高士 ほしの たかし

昭和二十七年、神奈川県生まれ。
祖母・星野立子に師事し、昭和五十九年俳誌「玉藻」副主宰兼編集長
平成二十六年六月より「玉藻」主宰
鎌倉虚子立子記念館長、日本伝統俳句協会常務理事
国際俳句協会理事、俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協会理事
現代俳句協会副会長

作品 一人二句まで（四季雑詠・未発表のもの）

投句料 ※高校生は、一人一句です。

投句先 二句一組千円（現金書留または小為替同封のこと）

※高校生は、無料です。

奥の細道象潟全国俳句大会事務局

〒〇一八―〇三一一（にかほ市生涯学習課内）

秋田県にかほ市金浦字南金浦四十九―二

電話 〇一八四―三八―二一七―

FAX 〇一八四―三八―四九二五

賞品。特選三句は蚶満寺境内の俳句掲示板に一年間掲示されます。

講師選

【主催】にかほ市・にかほ市教育委員会

【後援】秋田魁新報社・公益社団法人日本伝統俳句協会・俳人協会秋田県支部・秋田県現代俳句協会・にかほ市芸術文化協会



蚶満寺境内 俳句掲示板

第四十一回奥の細道象潟全国俳句大会 投句用紙

◆ 楷書で明瞭に記入してください

投句締切

令和七年六月二十日（金）当日消印有効（期日厳守） 昼食をご希望する方には、受付票を郵送します。

※どちらかに○をつけてください。 一般・高校生（※高校生の場合は一句です。）

整理番号					
氏名		郵便番号		二	一
ふりがな	―		住所	ふりがな	（高校生の場合）高校名と学年を記載してください。
	住所				
俳号		ふりがな			
電話番号		※平日の昼時間に連絡が取れる電話番号			
電話番号		―		―	
当日の参加について どちらかに○をつけてください。					
俳句大会		参加		／	不参加
昼食		※（当日1,000円集金します）		必要	／ 不要

〒018-0311
秋田県にかほ市金浦字南金浦49-2
奥の細道象潟全国俳句大会事務局
（にかほ市生涯学習課内）